

16. 明治維新と立憲国家への歩み(2)

欧米列強のため + 不平等条約改正のため (ためたため)

① 岩倉使節団

の派遣…不平等条約の改正には失敗したが、先進国の政治・産業・文化を学んだ

岩倉具光 木暮実高 伊藤博文 大久保利通 山岡寛方 など 津田梅子なども

明治初期の外交

アジアの国々に対して (薩長中心)

・清との関係…1871年、

アジアの国々に対して

② 日清修好 条規
を締結 (対等, 平等)

・朝鮮との関係

…武力で開国を迫る征韓論が

台頭→1875年、

朝鮮に軍事力を行使する

③ 江華島 事件がおこる

→翌年、④ 日朝通商手続 条規締結 (不平等)



・ロシアとの関係…1875年、

⑤ 樸子 条約
を締結

・琉球王国…

1879年、⑥ 琉球 藩を廃止

→⑦ 沖縄 県を設置

(琉球処分)

国民を加えて

自由民権運動…国民の自由と権利を求め、立憲政治の実現を目指す運動

・民権運動の始まり…1874年、⑧ 自由民権 党が民撰議院設立建白書を提出

・士族の反乱…政府への不満が高まり、西日本の各地で反乱がおこった

→⑨ 西南戦争…1877年、鹿児島士の士族たちが⑩ 西南 戦争を中心におこす

・自由民権運動の高まり…1880年、民権派の代表たちが大阪に集まり⑪ 自由民権 会を結成
イギリスにならった政党政治を主張した大隈重信と君主の権限の強い憲法をつくることを主張した岩倉具
視が対立→政府は大隈重信を辞めさせ、1890年に国会を開くことを約束 = 国会開設の勅諭

・政党の成立…⑧を党首とする⑫ 自由 党、大隈重信を党首とする⑬ 立憲改進 党が成立

立憲国家の成立

・⑭ 内閣 制度の確立…⑮ 伊藤博文 らは君主の権限の強い⑯ ドイツ (プロイセン) ・オーストリア
などで立憲政治を学ぶ

→1885年、⑭制度をつくり、⑮は初代の内閣総理大臣になる

・⑰ 大日本帝国 憲法…⑮が中心となつてつくった憲法案を枢密院で審議

→1889年、⑮ 天皇 が国民にあたえるという形で発布

⑮は国の元首として、軍隊を統率し、外国と条約を結ぶなど、大きな権限をもつ

言論・集会・出版・結社・信仰の自由は⑯ 法律 の範囲内で認められた

⑲ 貴族院 議会…皇族・華族などからなる⑲ 貴族院 と、選挙で選ばれた議員からなる⑲ 衆議院

・⑲議員の選挙権…直接国税を⑳ 15 円以上納める満㉑ 25 歳以上の㉒ 男子に限る

100%